・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター　TEL 0120-415-814　携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

21-01　　NWL0001128155A

Aprica

ベビーカー

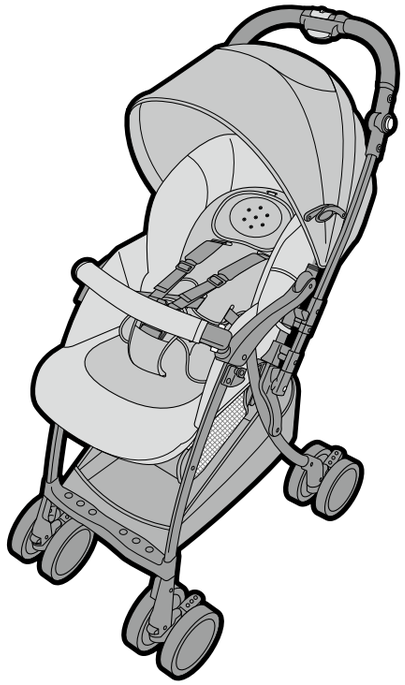
ラクーナ ビッテ クッション

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は生後１カ月※～36カ月(体重約15kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後1カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1カ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

ご使用の前に、取扱説明書（本書）をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。



SG安全基準A形

目　次

はじめに

ご使用前に …… 1
保護者の方へのアドバイス／SG基準について／本書の表示について
ご使用上の注意 …… 2～4
警告／注意
製品を取り出した時に …… 5
製品の特徴
各部の名称 …… 6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの開き方 …… 7
ハンドルの切替え方（オート4輪の使い方） …… 9
手動キャスターロックレバーの使い方 …… 12
ストッパーの使い方 …… 12
フロントガードの開き方 …… 13
足のせサポートの使い方 …… 13
カゴの使い方 …… 13
シートベルトの使い方 …… 14
お子さまの乗せ方 …… 15
肩ベルトの高さ調節 …… 17
リクライニングの角度調節 …… 18
パッド類の取り付け方 …… 19
日除けの使い方 …… 20
ベビーカーの折りたたみ方 …… 21

縫製品の取り外し方法

日除けの取り外し方 …… 22
エアーシートの取り外し方 …… 22
フロントガードカバーの取り外し方 …… 22
シートの取り外し方 …… 23
シートの取り付け方 …… 24

その他

日常のお手入れ …… 25
困った時 …… 27
保管について …… 28
廃棄について …… 28
SGマーク制度について …… 28
保証とアフターサービスについて …… 29
保証書 …… 30

保護者の方へのアドバイス

安全、快適にお使いいただくために

- ベビーカーの連続使用、長時間使用は避けましょう。
- お子さまに直射日光が当たらないように配慮しましょう。
- 騒音や粉じんの多い人混みはなるべく避けましょう。
- 振動や衝撃のかかりやすい段差や道路はできるだけ避けましょう。

SG基準について

・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。(この製品は、SG安全基準A形合格品です。)

適用範囲	このベビーカーは、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用のベビーカーです。
形式の分類	**A形** 生後1カ月を過ぎまだ首がすわらない乳児から寝かせた姿勢で使用できるベビーカー。
使用範囲	生後1カ月から36カ月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢:2時間以内　座らせた姿勢:1時間以内
背もたれ角度	150°以上
車輪の外径	115mm以上

本書の表示について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
⃠	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠警告　**誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。**

お子さまが落ちるおそれがあります。

シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。

ベビーカーの中でお子さまを立たせない。

お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。

路面の溝にベビーカーの車輪がはまり、前のめりになるなどしてバランスがくずれベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

排水溝の格子状のふた(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝がある路面を通過する必要がある時は、溝に車輪がはまる場合があるので、注意しながらゆっくり押すこと。

車輪がはまった時は、フレーム(パイプ)とハンドルを持って、はまった車輪を引き上げてください。その際はベビーカー全体を持ち上げないでください。

坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。

お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。

お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。

バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せたまま持ち上げない。

〈次ページに続く〉

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

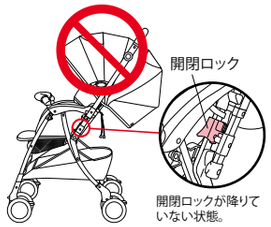
ベビーカーが転倒するおそれがあります。

二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。

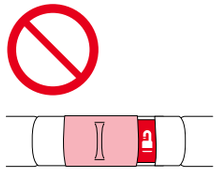
階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。

ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

ご使用時は、開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。



必ずハンドルレバーロックをかけた上で使用する。



ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。

カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。

路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。

気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。

お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。またお子さまの体格に合わせて調節すること。

ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

ハンドルに過度の荷重をかけない。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。

開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。

フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- お子さまにベビーカーを操作させない。
- お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- 弊社サービス員以外は分解・組立・改造をしない。
- シートを外した状態で使用しない。
- 急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- お子さまの遊び道具として使用しない。
- 電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり大変危険です。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- 必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤をご使用ください。
- 長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- 空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- 2台のベビーカーを連結して使用しない。
- 前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
- フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
- カゴに重量5kg以上の荷物を入れない。
- 保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。
- 荷物などの運搬のために使用しない。
- その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- バスの中では使用しないでください。
  本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について。
  本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- 雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- 風の強い時は使用しない。
- 雷の時は使用しない。
- 室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- 火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

- 段差を無理に乗り越えようとしないでください。破損や故障の原因となります。

〈段差の乗り越え方〉

対面での使用の場合は、ステップに足裏をあて、ハンドルを手前に引いて乗り越えてください。

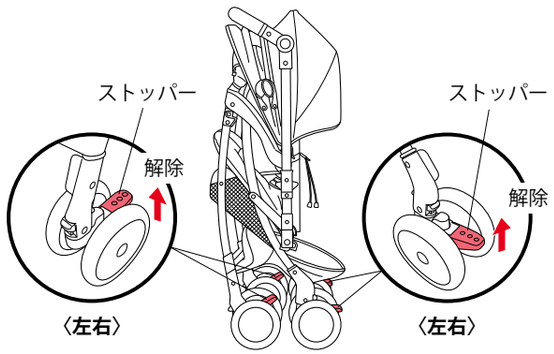
背面での使用の場合は、ハンドルを押し下げ、同時にアームレスト部を引き上げて乗り越えてください。

製品を取り出した時に

・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P29参照）
・ご使用の前に、P30「保証書」に次の項目をご記入ください。
①品番、ロット番号（P6「各部の名称」参照）
②購入日
③お客様のお名前、住所、電話番号
④販売店名
・レシート（領収書）を本書と一緒に保管してください。（P29参照）

本 体

・箱から取り出した時は折りたたんだ状態です。
・ベビーカーを開く時はP7、P8を参照してください。

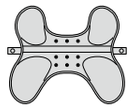


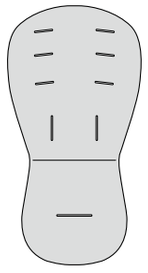
〈製品を取り出した時には〉
前後のストッパーがロックされた状態になっております。
ご使用の前にストッパーのロックを解除してください。（P12参照）

注意
・ご使用の前にストッパーのロックを解除してください。（P12参照）

付属品

頭マモールパッド


腰マモールパッド


エアーシート

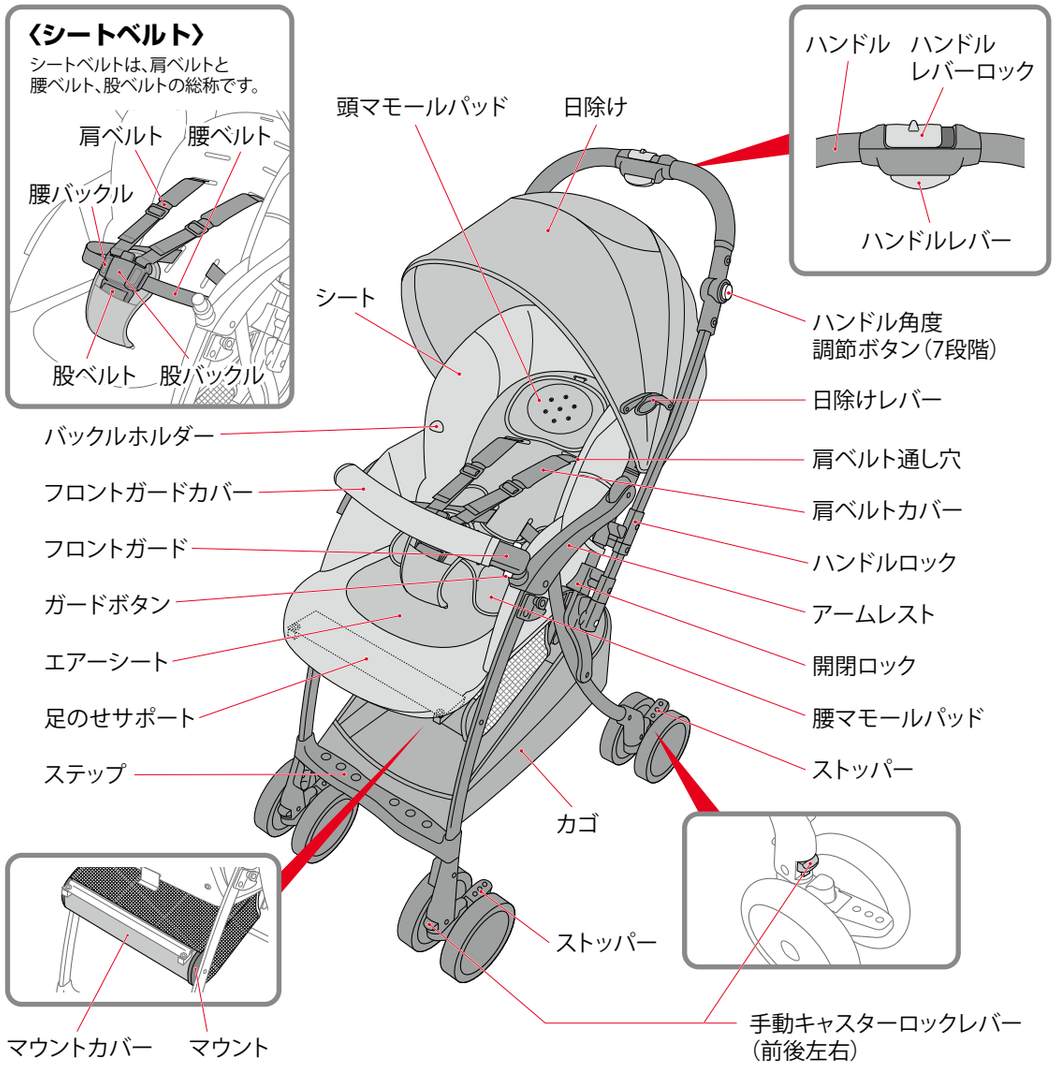
取扱説明書／保証書（本書）

警告
・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。
お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

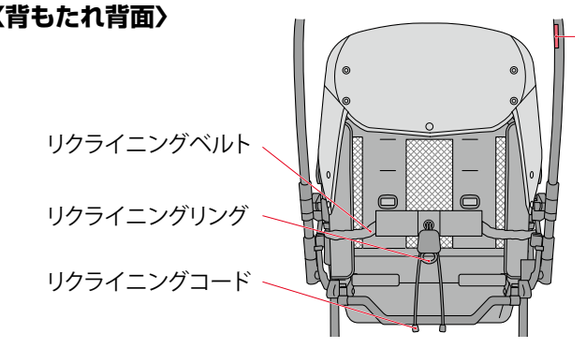
〈製品の特徴〉

・ハンドルは背面、対面切替え式です。
・前後折りたたみ方式です。
・マグネットバックルを使用しています。
・車体を折りたたんだ状態で自立します。
・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。

各部の名称



〈背もたれ背面〉



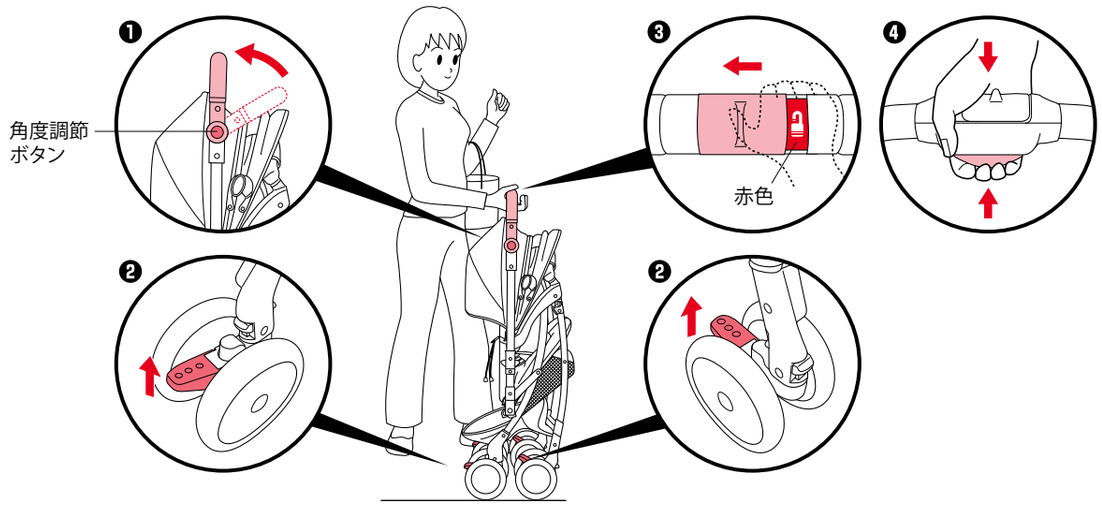
品名・品番
ロット番号シール（ハンドル内側）
〈保証書記入時に参照ください。〉

ベビーカーの開き方

警告
・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

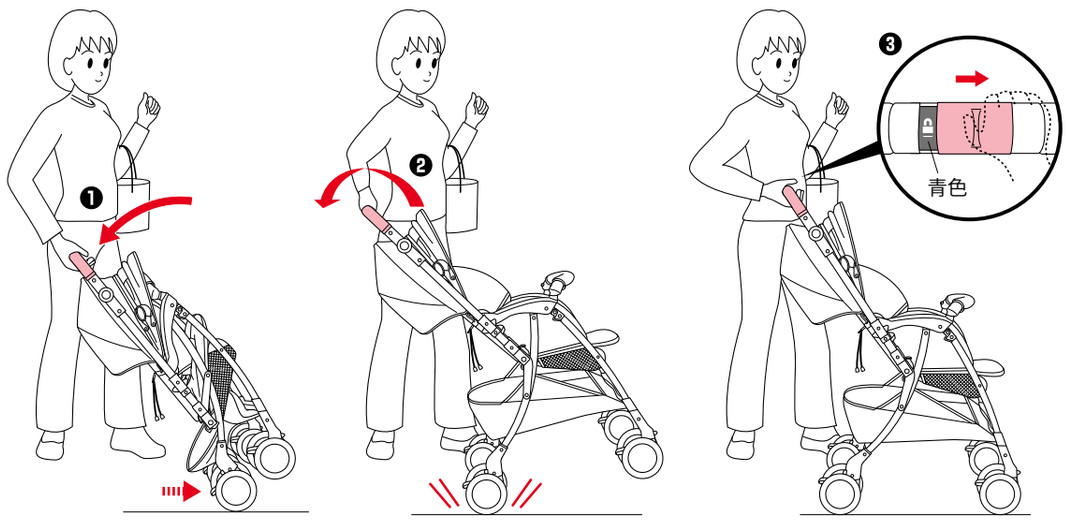
お願い ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2〜3回繰り返して操作してください。

1 開く前に



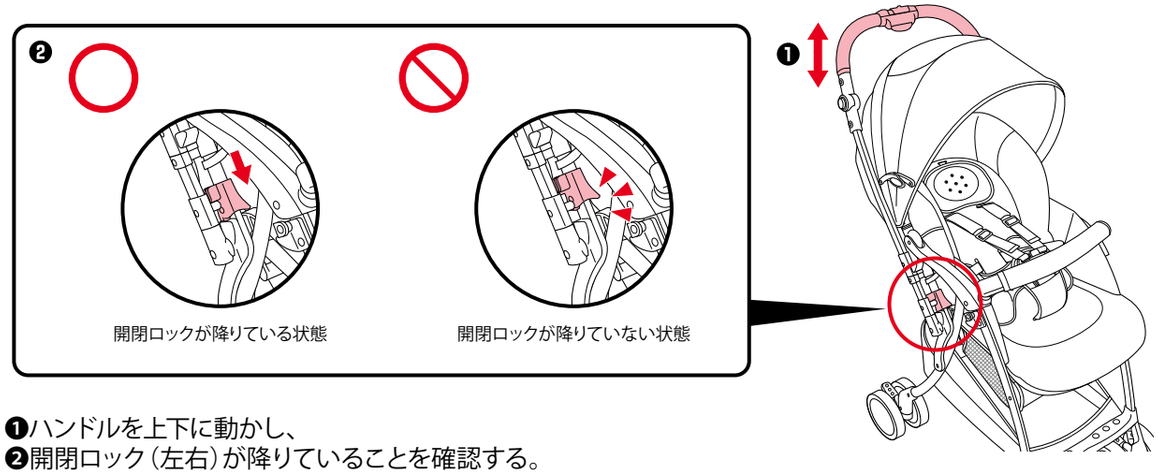
❶両手で左右の角度調節ボタンを押しながら、ハンドルをまっすぐに起こす。(P8参照)
❷前後左右のストッパーをロック解除する。(P12参照)
❸ハンドルレバーロックを解除する。
(🔓 赤色が表示されます。)
❹ハンドルを軽く下に押し付けハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。

2 開く



❶握ったまま、ハンドルを後方に倒し、
❷弧を描くようにハンドルを手前に引き、開く。
❸ハンドルレバーロックをかける。
(🔒 青色が表示されます。)

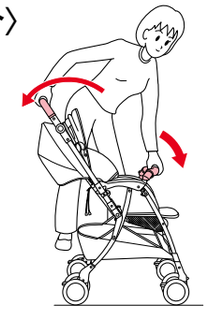
3 開閉ロックの確認



❶ハンドルを上下に動かし、
❷開閉ロック(左右)が降りていることを確認する。

警告
・ご使用時は開閉ロックが完全に下まで降りていることを確認する。
ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

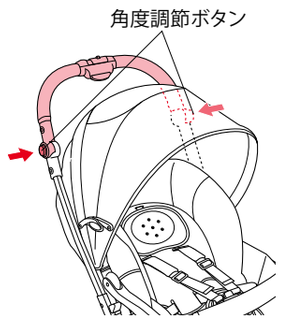
〈両手で開く場合〉

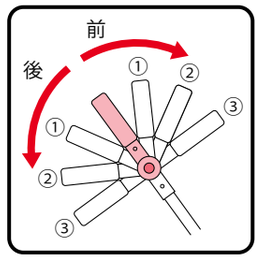


アドバイス 片手で開きにくい場合は、ハンドルとフロントガードを持って開いてください。

ハンドルの角度調節の仕方

・ハンドルの角度を変えて高さを調節することができます。(7段階調節)





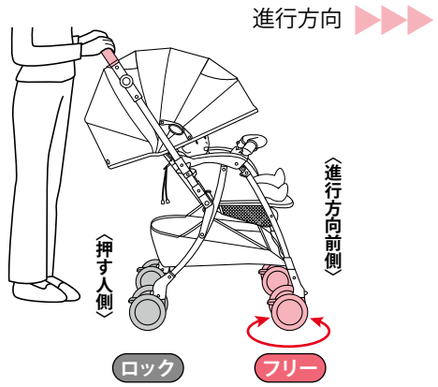
❶両手で左右の角度調節ボタンを押しながら、ハンドルの角度を調節する。
❷使用する角度で角度調節ボタンをはなす。

ベビーカーの使用方法

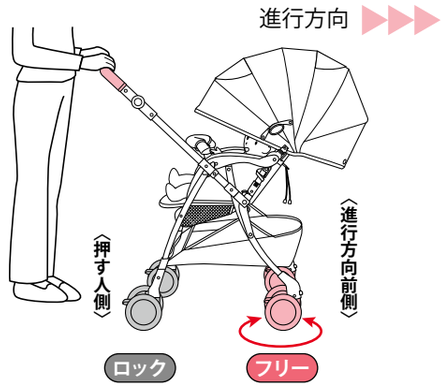
オート4輪について

・本製品はハンドルを背面、対面に切替えて使用することができます。
・ハンドル切替に連動して、キャスターのロックとフリー（ロック解除）が切り替わります。
常に**押す人側**のキャスターがロック、**進行方向前側**のキャスターがフリーになるので、方向転換がスムーズに行えます。

背面（お子さまの後方から押す場合）



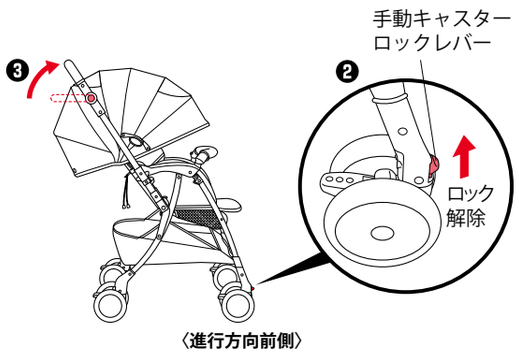
対面（お子さまと向かい合って押す場合）



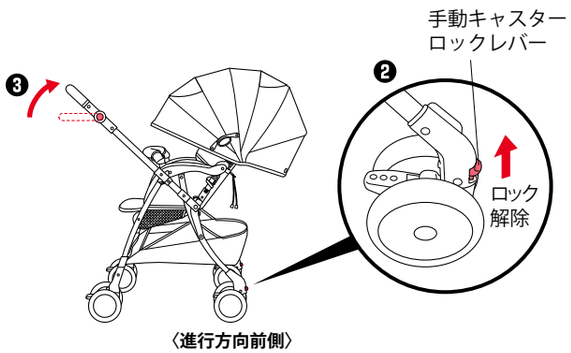
1 準 備

警告
・ベビーカーが完全に開いていない状態でハンドル切替を行わない。
・ハンドルを切替える前に、必ず進行方向前側の手動キャスターロックレバー（左右）を解除する。解除しないとハンドルを切替えた後に押す人側のキャスターが自動ロックされず、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

背面

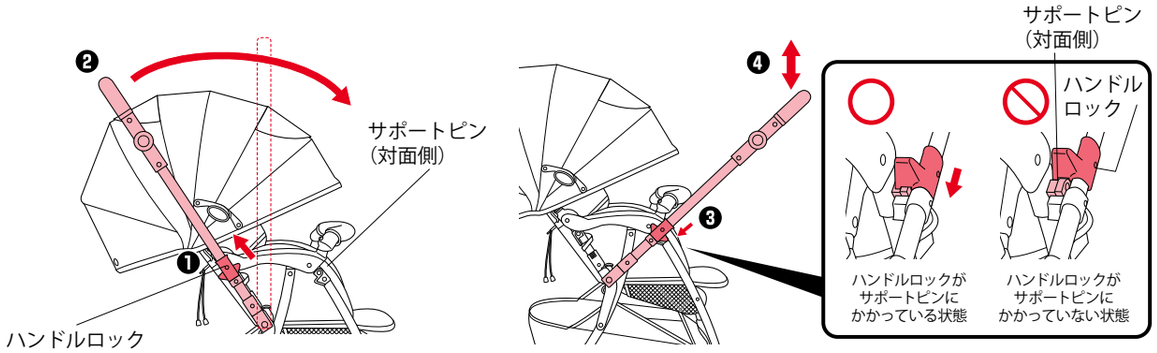


対面



❶背面から対面への切り替えの場合、ベビーカーが完全に開いていることを確認する。
（P8「開閉ロックの確認」参照）
❷**進行方向前側**の手動キャスターロックレバー（左右）を上げ、ロック解除にする。
❸ハンドルをまっすぐに起こす。（P8「ハンドルの角度調節のしかた」参照）

2 ハンドルを切替える



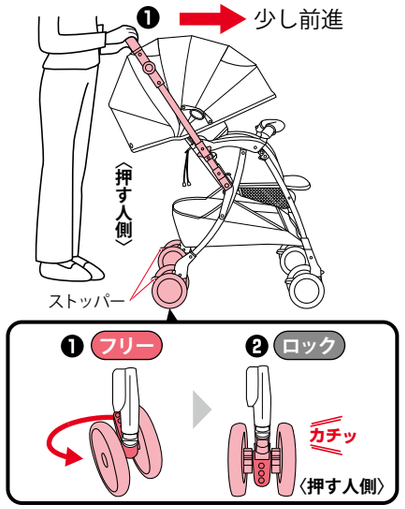
❶ハンドルロック（左右）を同時に引き上げながら、
❷ハンドルの向きを切り替える。
❸ハンドルロック（左右）をサポートピンにかける。
❹ハンドルを上下に動かし、ロックされたことを確認する。

・イラストは『背面から対面』へのハンドル切替を示していますが、**『対面から背面』への切替の場合も同様の手順とロックの確認を行ってください。**

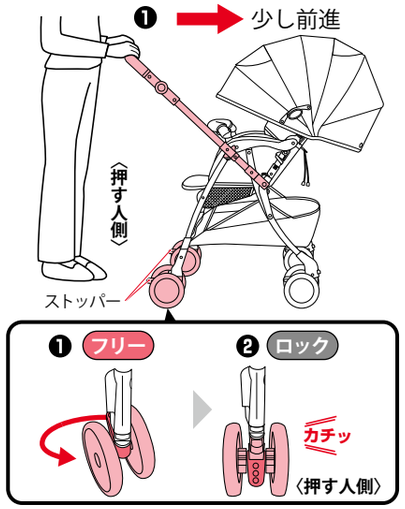
警告
・ハンドルの切替操作はベビーカーを停車してから行う。
・坂道ではハンドル切替を行わない。
・ハンドルロックはサポートピンに左右ともかけ、必ずハンドルを上下に動かしてロックの確認を行うこと。ハンドルロックが正常にかかっていない場合、ベビーカーが転倒するおそれがあります。
・ハンドルを切替える時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。

3 押す人側のキャスターをロック

背面



対面



❶少し前進させて、ストッパーが**押す人側**を向くようにキャスターを回転させる。（左右）
❷「カチッ」と音がして、**押す人側**のキャスターが自動ロックされます。
・ハンドル切替中と切替直後（上記①②の操作を行うまで）は、全てのキャスターがフリーの状態です。
車体が不安定になりますので、必ず**押す人側**のキャスターを自動ロックさせてから、使用してください。

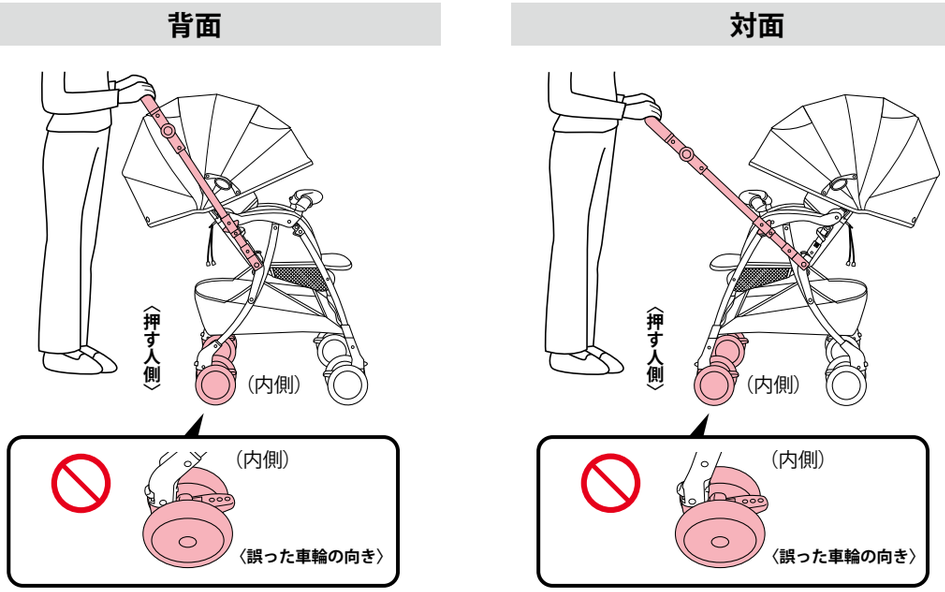
ベビーカーの使用方法

ハンドルの切替え方（オート4輪の使い方）

オート４輪の注意点

誤ったキャスターロック

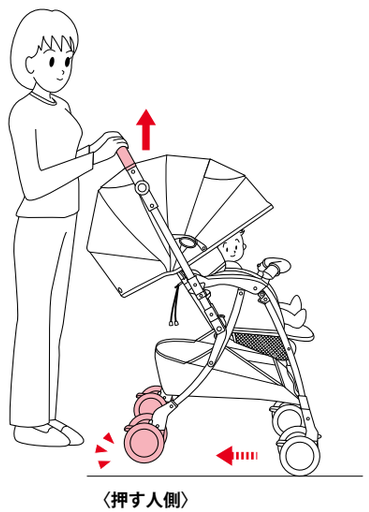
・**押す人側**のキャスターが内側を向いてロックされるのは、誤った使用方法です。
これは、**手動キャスターロックレバーを解除せずにハンドルを切替えた場合**に起こります。



この場合は、**押す人側**の手動キャスターロックレバーを解除してから、再びキャスターを正しい向きにロックさせてください。（P10「押す人側のキャスターをロック」参照）

後方に動かす場合

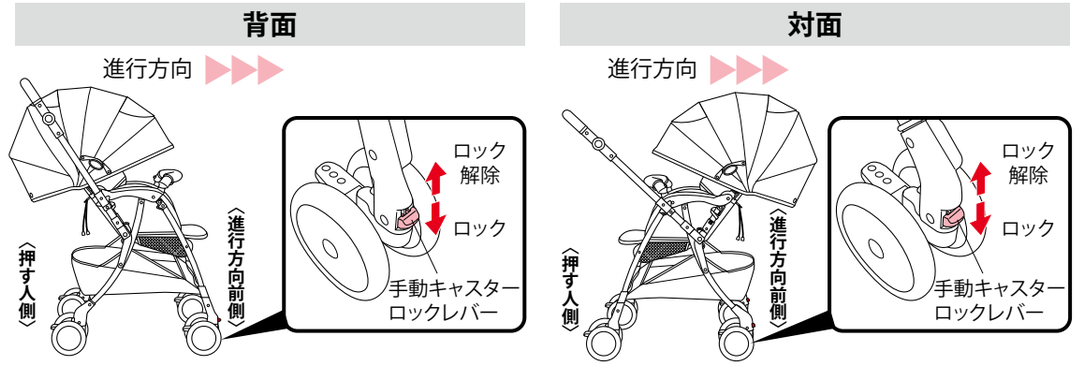
オート4輪のベビーカーは構造上、後方に動かすときに**押す人側のキャスター**が操作しにくくなる場合があります。
やむを得ずベビーカーを後方に動かす場合（エレベーターや電車の乗り降りなど）は次のようにしてください。



●ハンドルを持ち上げて、**押す人側**の足元にある車輪を軽く浮かせて後方に動かす。

手動キャスターロックレバーの使い方

進行方向前側のキャスターは、手動でロックすることができます。
凸凹道、坂道、傾斜地などの走行には一時的に進行方向前側（左右）のキャスターを手動ロックすると押しやすくなります。
通常の走行時は、手動キャスターロックレバーを解除した状態でご使用ください。



●**進行方向前側**の手動キャスターロックレバーを下げ、ロックする。（左右）
●**進行方向前側**の手動キャスターロックレバーを上げ、ロック解除する。（左右）

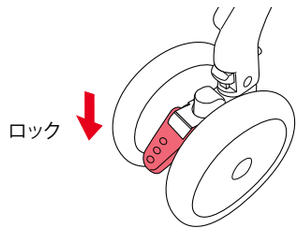
アドバイス　**押す人側**のキャスターはオート4輪の機能で自動ロックされています。
手動キャスターロックレバーでの操作はできません。

ストッパーの使い方

⚠警告
・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックすること。
・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。
・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

⚠注意
・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右共ロックしてください。

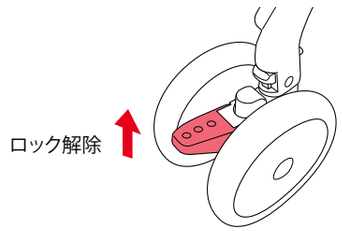
〈ストッパーをロックする場合〉



❶**押す人側**の車輪のストッパーを押し下げてロックする。（左右）
❷前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

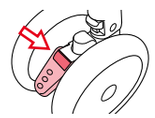
アドバイス　ストッパーのロックがかかりにくい時は、ベビーカーを前後させて再度ストッパーを押し下げてロックしてください。

〈ストッパーをロック解除する場合〉

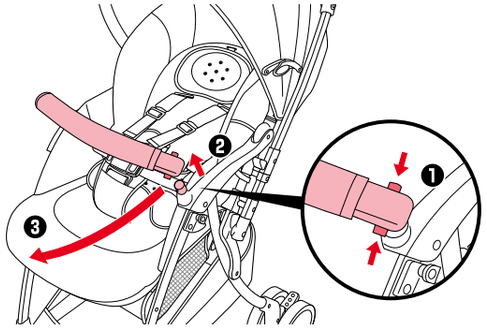


●車輪のストッパーを押し上げて解除する。（左右）

⚠注意
・ストッパーを手でロック解除する場合は、矢印の部分で指を挟まないようにご注意ください。



フロントガードの開き方

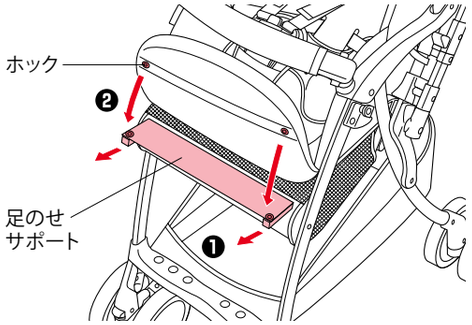


❶ガードボタンを押しながら、
❷フロントガードを上方に引き抜く。
❸フロントガードを下に降ろす。

注意
・フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないようにすること。
・フロントガードを持って、お子さまを乗せたままのベビーカーを持ち上げたり、引っ張ったりしない。

足のせサポートの使い方

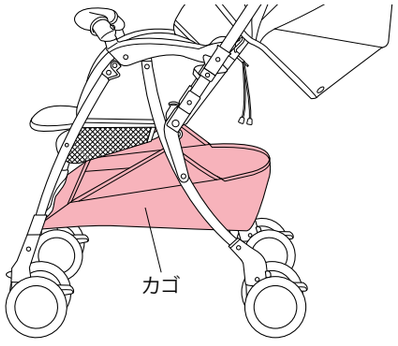
・足のせサポートは、背もたれを倒した時などにお子さまを楽な姿勢にすることをサポートします。



❶シート座部を持ち上げ、足のせサポートを引き出す。(左右)
❷シート裏のホックを足のせサポート先端のホックにとめる。(左右)

カゴの使い方

注意
・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
・重量5kg以上の荷物を入れない。
・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
・カゴには貴重品などを入れない。



●カゴの上部から荷物の出し入れをする。

・カゴは取り外さないでください。

アドバイス 荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

シートベルトの使い方

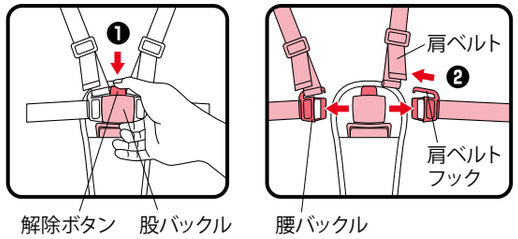
バックルについて

・本製品のシートベルトのバックル(股バックルおよび腰バックル)には、マグネットが使用されております。

警告
バックルのマグネットがペースメーカの作動に影響を及ぼすおそれがあります。
・ペースメーカをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。
・ペースメーカをご使用の方がベビーカーを操作される場合は、ペースメーカの植込み部位をバックルに近づけないでください。

注意
・クレジットカードなど、マグネットの影響を受ける可能性のあるものをバックル付近に近づけないでください。
・シートベルトを外した状態でベビーカーを折りたたんだり、ベビーカーを放置したりしないでください。バックルが破損したり、バックルのマグネット部分に異物が付着し確実にロックできなくなったりするおそれがあります。

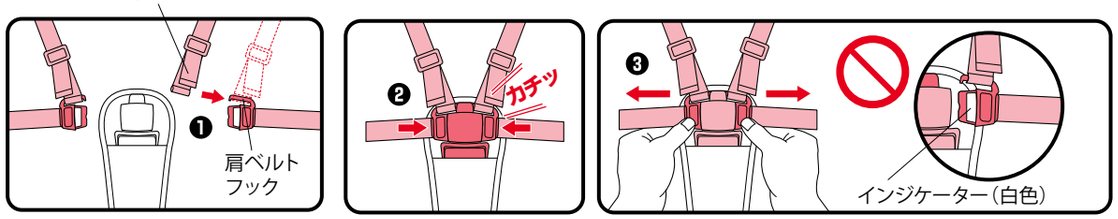
シートベルトの外し方



❶股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。(左右の腰バックルが同時に外れます。)
❷肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。(左右)

アドバイス 股バックルの解除ボタンはお子さまが容易に操作できない強さに設定されています。
シートベルトを外す際は、解除ボタンは最後までしっかり押し込んでください。

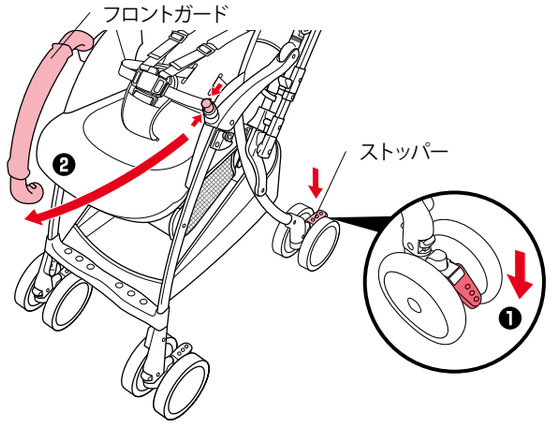
シートベルトの締め方(バックルのとめ方)

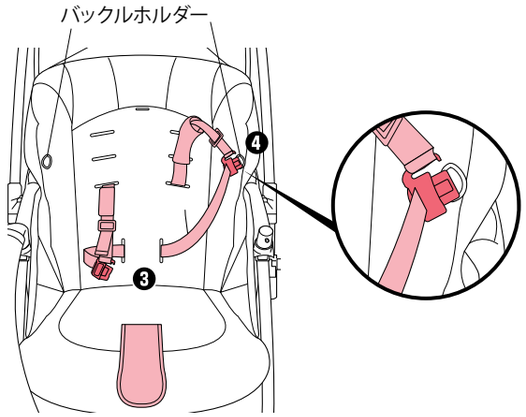


❶肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。(左右)
❷腰バックルを股バックルに差し込む。(左右)
(マグネットで腰バックルが引き込まれ、「カチッ」と音がしてロックします。)
❸腰バックルのインジケーター(白色)が見えていないことを確認した上で、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。

アドバイス
・バックルに異物の付着がないことを確認してからバックルを差し込んでください。
・バックルにベルトや布などが挟みこまれた場合は、一度バックルを外し、差し込み直してください。

1 準 備

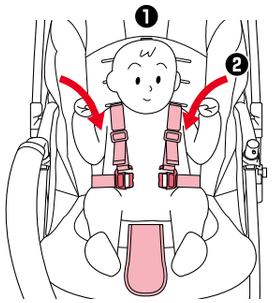


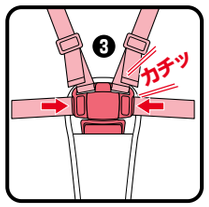


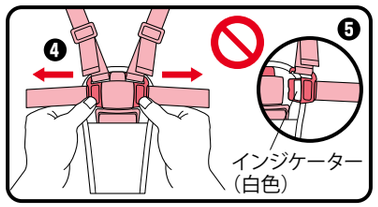
❶押す人側のストッパーをロックする。(P12参照)
❷フロントガードを開く。(P13参照)

❸股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。(P14参照)
❹腰バックルをシートのバックルホルダー(シート脇の○印部分)に置く。(左右)
・バックルの磁力で吸着します。

2 お子さまを乗せる







❶お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
❷お子さまの腕を肩ベルトに通す。
❸バックルをとめる。(P14参照)
❹左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。
❺腰バックルのインジケーター(白色)が見えていないことを確認する。

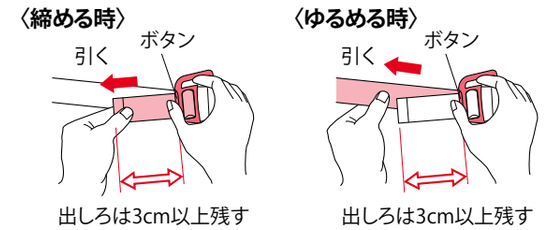
アドバイス
・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

⚠警告

・シートベルトを締めた後は、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
・バックルをとめる時に、お子さまの手足や衣服を挟まないように注意してください。
・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

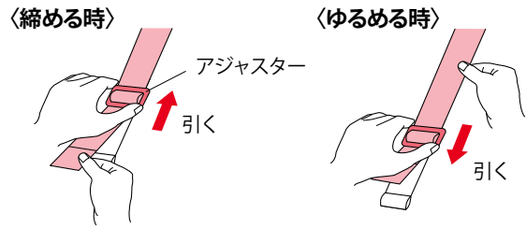
3 ベルトの調節

腰ベルト



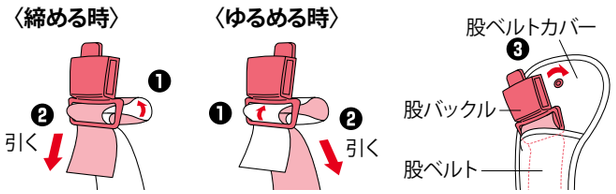
●ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

肩ベルト



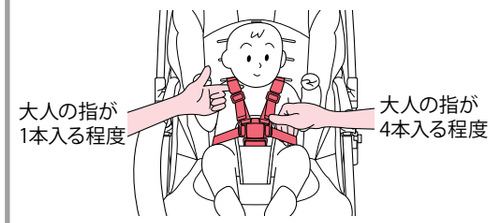
●アジャスターを引き、長さを調節する。

股ベルト



❶ベルトを矢印の方向に送り、
❷ベルトを引き、長さを調節する。
❸ベルトの調節後、股バックル裏のホックを股ベルトカバーにとめる。

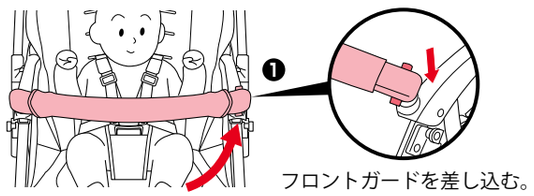
ベルトの調節の目安

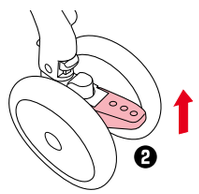


⚠警告

・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。
・腰ベルトの末端の出しろ(⟺ 部分)は必ず3cm以上残す。
・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。

4 最後に





❶フロントガードを閉じて
❷ストッパーのロックを解除する。

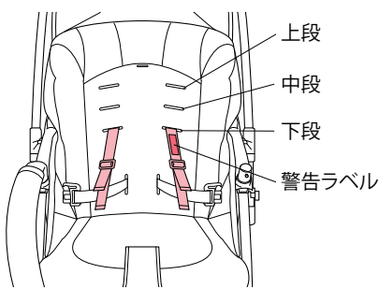
ベビーカーの使用方法

肩ベルトの高さ調節

⚠警告 ・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

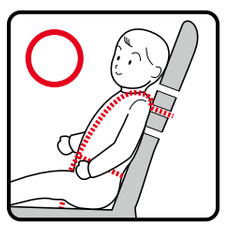
〈肩ベルト位置〉

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

・肩の位置より下段に通す。



・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

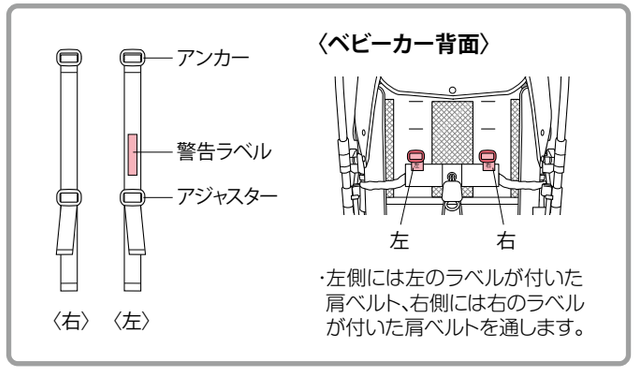
月齢(体格)の目安	肩ベルト通し穴位置
18カ月～36カ月	上　段
7カ月～18カ月	中　段
1カ月～7カ月	下　段

※上記表示は目安であり個人差があります。

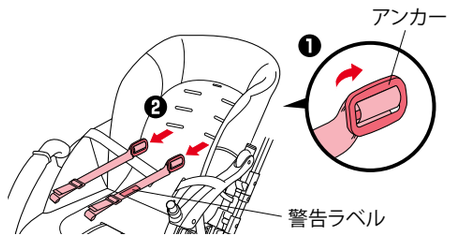
アドバイス
・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

肩ベルトの高さ調節のしかた

●股バックルから肩ベルト、腰ベルトを外す。(P14 参照)
●肩ベルトカバーを肩ベルトから取り外す。
●シートをめくる。(P23 参照)

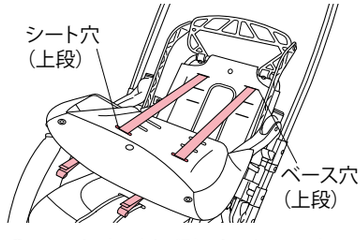


・左側には左のラベルが付いた肩ベルト、右側には右のラベルが付いた肩ベルトを通します。



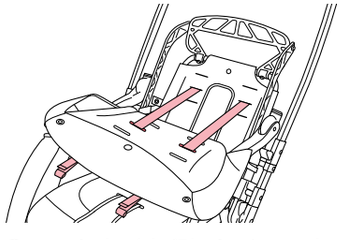
❶肩ベルトのアンカーをひねる。
❷背もたれとシートの肩ベルト通し穴から肩ベルトを抜く。(左右)

〈上段を使用する時〉



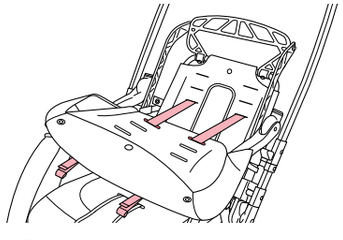
●シート穴（上段）とベース穴（上段）に通す。

〈中段を使用する時〉



●シート穴（中段）とベース穴（中段）に通す。

〈下段を使用する時〉



●シート穴（下段）とベース穴（下段）に通す。

●高さ調節後、シートをかぶせ、ホックをとめる。(P24参照)
●肩ベルトカバーを肩ベルトに取り付ける。
●肩ベルトを2～3回引っ張り、外れないことを確認する。

リクライニングの角度調節

・リクライニングの角度調節機能は、お子さまの姿勢を快適に保つことをサポートします。
・一番倒した状態では、お子さまが乗って平らになるように設計されています。
・背もたれを一番倒した状態にすると、ヘッドレストが起き上がります。

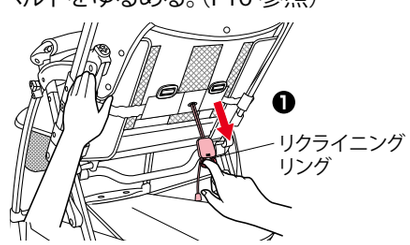
〈リクライニング位置の目安〉

月齢(体格)の目安	リクライニングの位置
1カ月～首がすわるまで	**一番倒した状態**
首がすわってから、ひとり座りできるまで	**一番倒した状態～中間位置**
ひとり座りできてから	**一番倒した状態～一番起こした状態**

※上記表示は目安であり個人差があります。

背もたれを倒す時

●肩ベルトをゆるめる。(P16 参照)



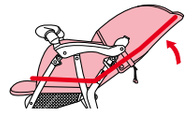
❶片方の手でお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。
❷リクライニングリングを引きながら背もたれを倒し、角度を調節する。

●リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。(P16 参照)

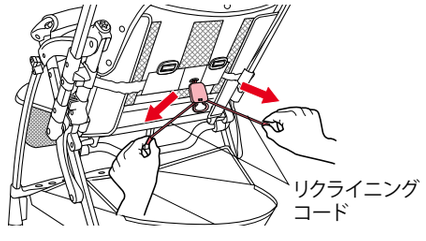
⚠警告
・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。肩ベルトや腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。

⚠注意
・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないように注意する。
・ひとり座りができないお子さまは、背もたれを倒して使用する。

アドバイス
・ひとり座りができるお子さまで、ヘッドレストの位置に頭がくる場合には、背もたれを倒した時に無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置にリクライニング角度を調節してください。



背もたれを起こす時



●お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。

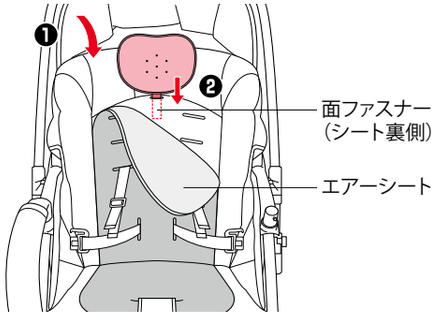
アドバイス
・お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

パッド類の取り付け方

・頭マモール、腰マモールは、ベビーカー内において、お子さまの姿勢を適切に保つことをサポートします。

頭マモールパッド　首すわりの頃（月齢の目安：4カ月頃）までご使用ください。

・頭マモールパッドは肩ベルト位置が下段でのみ使用してください。お子さまの発育に合わせて最長 7 カ月頃まで使用できます。（肩ベルトの高さ調節は P17 参照）

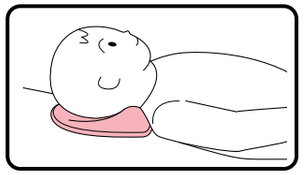


❶背もたれを一番倒した状態にする。（P18参照）
❷パッド取り付け穴に面ファスナー付きベルトを矢印方向に通し、シート裏側の面ファスナーに取り付ける。

エアーシートを使用している場合は、エアーシートをめくってから取り付けてください。

アドバイス　パッドが取り付けにくい場合は、シートの上部を外して、シートの裏側を見ながら取り付けてください。（シートの取り外し方は P23 参照）

〈頭マモールパッドの取り付け位置について〉

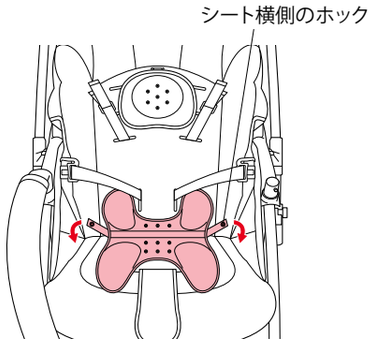


●パッド下部のふくらみがお子さまの首の後ろに合うように取り付けてください。
※パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなった時は取り外してください。

⚠注意　・頭マモールパッドは、肩ベルト位置が中段や上段の時は使用できません。
また、パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなった時は取り外す。

腰マモールパッド（1カ月～36カ月※ まで使用できます。）

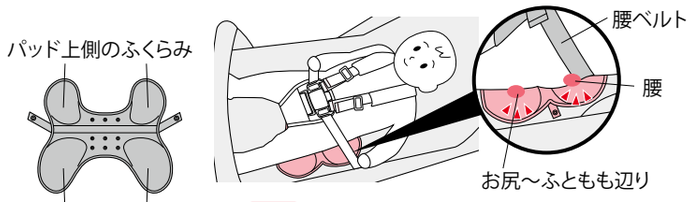
※36カ月未満でも、お子さまの体格によっては腰マモールパッドが合わなくなることがあります。
その時は取り外してください。



●腰マモールパッド横側のホックをシート横側のホックにとめる。（左右）

〈腰マモールパッドへの乗せ位置について〉

・パッド上側のふくらみが腰
・パッド下側のふくらみがお尻～ふともも辺りに接するように乗せてください。
上下のふくらみでお子さまの骨盤の四隅を支えるイメージです。

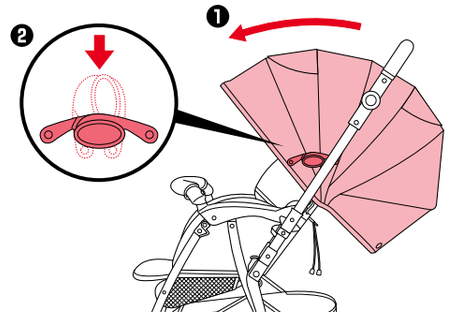


アドバイス　・おしりの位置が前方にずれて股ベルトを踏まないように乗せます。

日除けの使い方

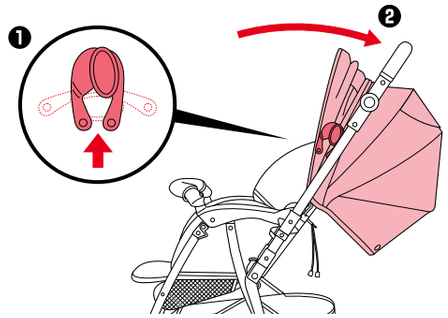
⚠警告　・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。
可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

開き方



❶日除けを前方に開く。
❷日除けレバーをロックする。（左右）

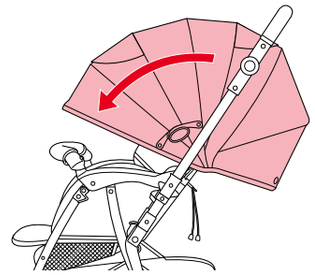
閉じ方



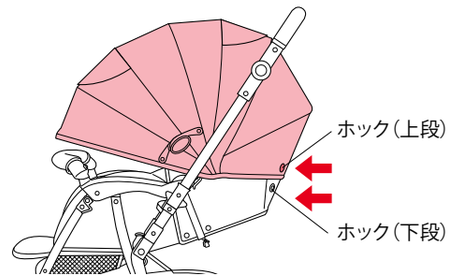
❶日除けレバーを折りたたむ。（左右）
❷日除けを閉じる。

日除けの角度調節

・背もたれを倒した時や日差しの低い時など日除けの角度を調節できます。



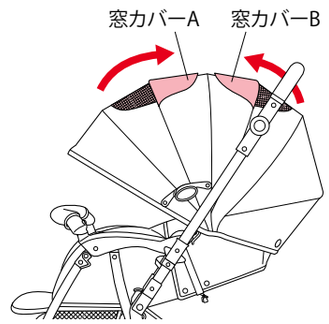
●日除けを開いた状態で前方向に開き、使用する位置でとめる。



●背もたれを倒した時は日除けのホック（2 カ所）をヘッドレスト後側のホックにとめる。

・ホック位置は 上段下段の 2 段階に調節できます。お好みに応じてご使用ください。

窓カバーの開き方



●日除けの窓カバーを開けると、窓からお子さまの様子を見ることができます。

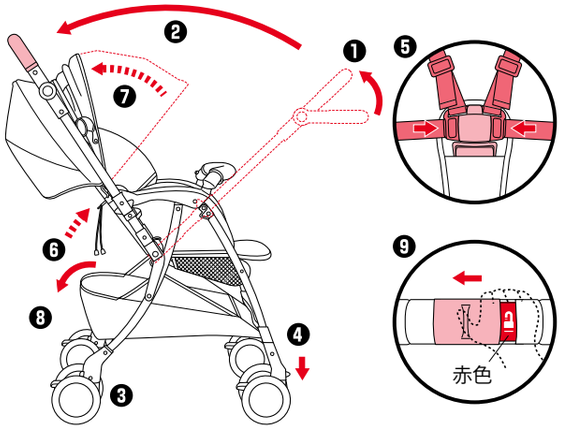
ベビーカーの折りたたみ方

警告
・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

注意
・シートベルトを締めてからベビーカーを折りたたむこと。シートベルトが開閉ロック部分に挟まってベビーカーが折りたためなくなったり、バックルの破損や、バックルのマグネット部分への異物の付着のおそれがあります。

お願い ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2〜3回繰り返して操作してください。

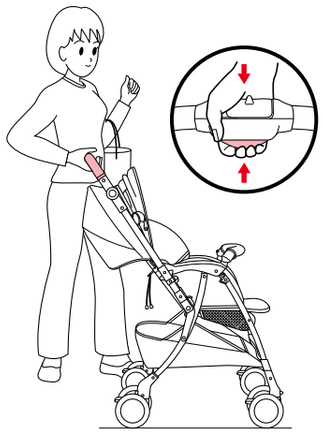
1 折りたたむ前に



❶ハンドルをまっすぐに起こす。(P8参照)
❷ハンドルを背面に戻す。(P9、P10参照)
❸少し前進させ、押す人側のキャスターを自動ロックさせる。(P10参照)
❹進行方向前側の左右の手動キャスターをロックする。(P12参照)
❺シートベルトを締める(P14参照)
❻背もたれを起こす。(P18参照)
❼日除けを閉じる。(P20参照)
❽カゴから荷物を取り出す。
❾ハンドルレバーロックを解除する。
(🔒 赤色が表示されます。)

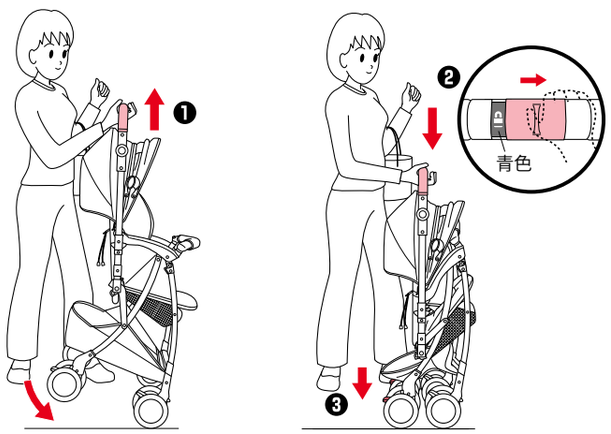
アドバイス ・ベビーカーを使用する時は、進行方向前側の左右の手動キャスターをロック解除してください。

2 ロックの解除



●ハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。

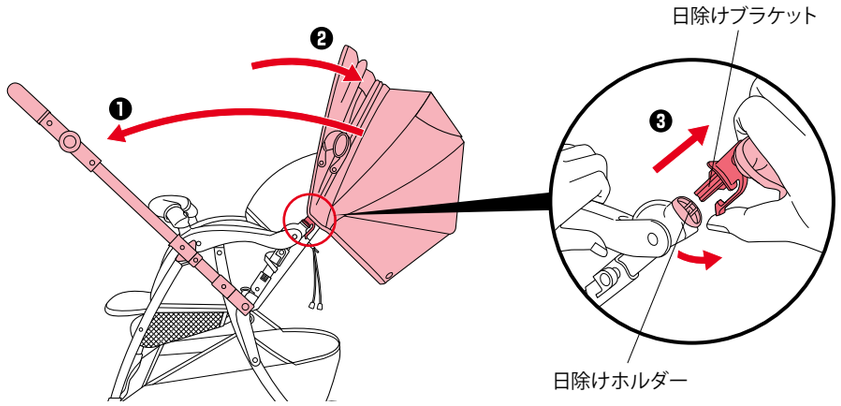
3 折りたたむ



❶握ったまま、ハンドルを持ち上げ、ハンドルを降ろして折りたたむ。
❷ハンドルレバーロックをかける。(🔒 青色が表示されます。)
❸押す人側のストッパーをロックする。(P12参照)

アドバイス ・片手で折りたたみづらい場合は、もう一方の手でフロントガードを持って折りたたんでください。

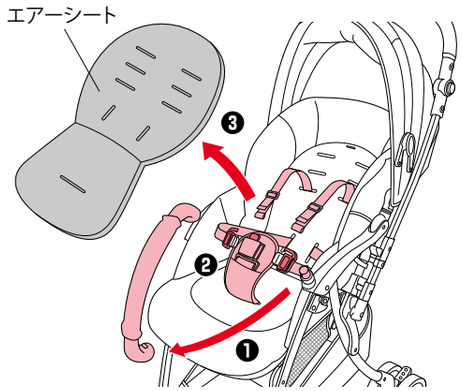
日除けの取り外し方



❶ハンドルを対面に切替える。(P9、P10参照)
❷日除けを閉じる。(P20参照)
❸日除けブラケットの下側のツメを指先で手前に引き、日除けホルダーから引き抜く。(左右)

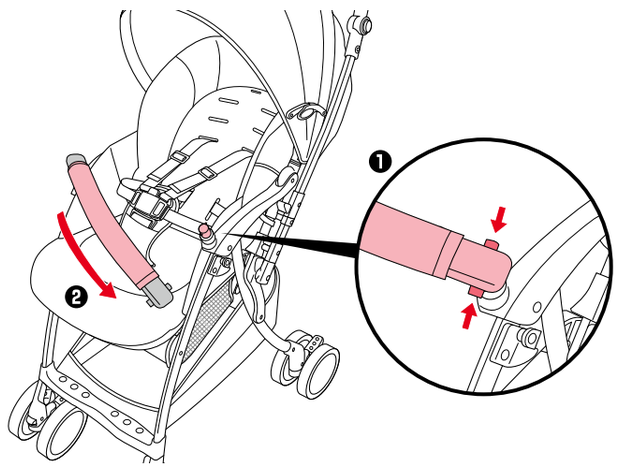
エアーシートの取り外し方

・エアーシートを取り外した状態でも、お子さまを乗せてお使いいただけます。
・エアーシートは裏面も表面と同様にお使いいただけます。



❶フロントガードを開く。
❷股バックルの解除ボタンを押し、腰ベルトを外す。
❸股ベルト、肩ベルト、腰ベルトをエアーシートから引き抜き、取り外す。

フロントガードカバーの取り外し方



❶フロントガードを開く。
❷フロントガードカバーを抜き取る。

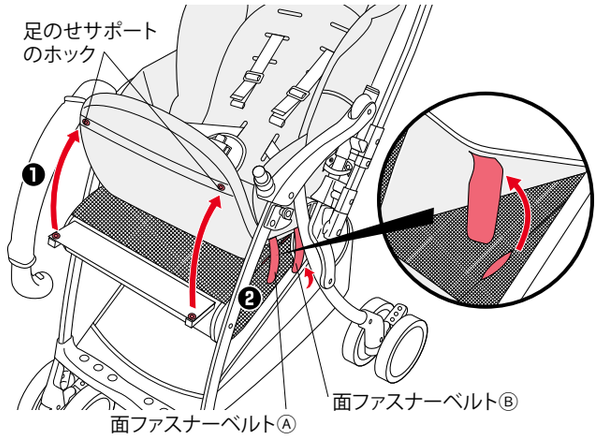
シートの取り外し方

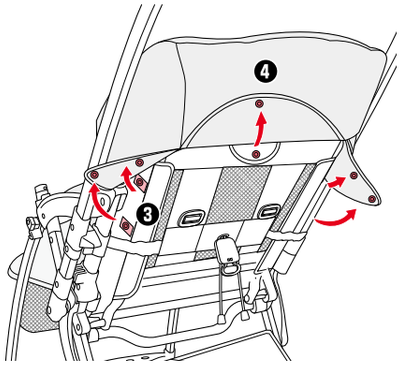
警告

・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

アドバイス　日除けを取り外してから行うと、作業しやすくなります。(P22参照)

・フロントガードを開いて、股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。
・肩ベルトから肩ベルトカバーを取り外す。

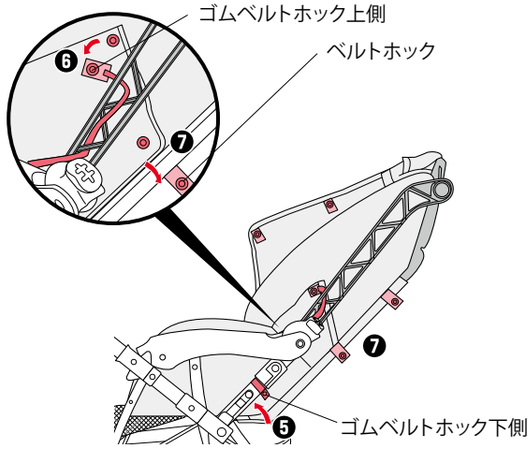


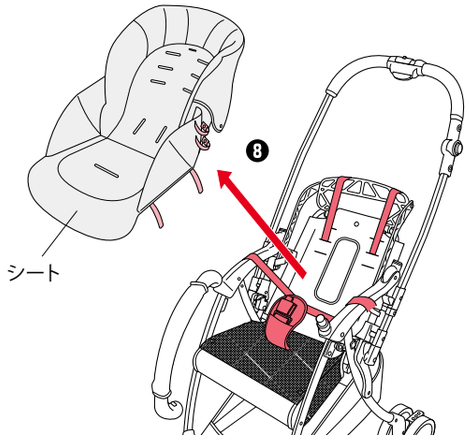


❶足のせサポートのホック（左右）を外す。
（足のせサポート使用時）
❷シート座面裏から面ファスナーベルトⒶⒷを外し抜き取る。（左右）
❸シートかぶせ部両側のホック（左右各2カ所）を外す。
❹シートかぶせ部中央のホックを外し、かぶせ部をめくりあげる。

アドバイス　面ファスナーを外しにくい場合は、車体を折りたたみ、座面裏を見ながら外してください。

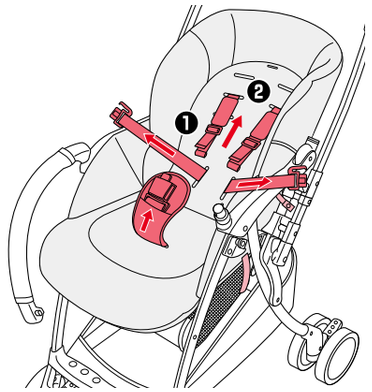
アドバイス　ハンドルを対面に切り替えると、作業しやすくなります。(P10参照)

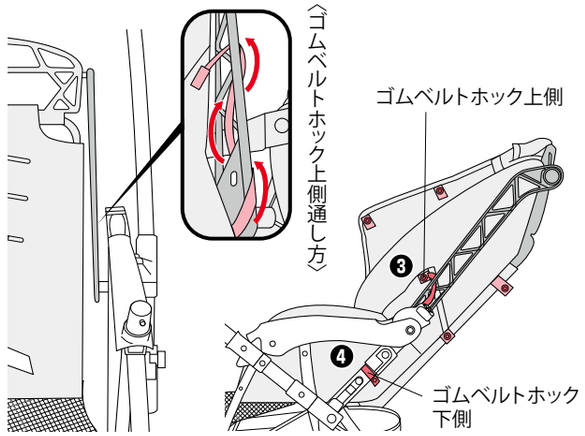




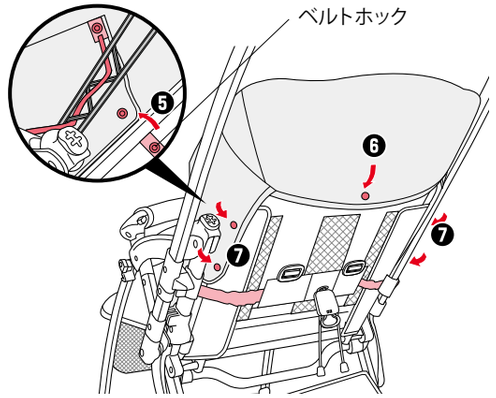
❺ゴムベルトホック下側を外す。（左右）
❻ゴムベルトホック上側を外す。（左右）
❼ベルトホックを外す。（左右）
❽股ベルトと腰ベルト、肩ベルトをシートから引き抜き、シートを取り外す。

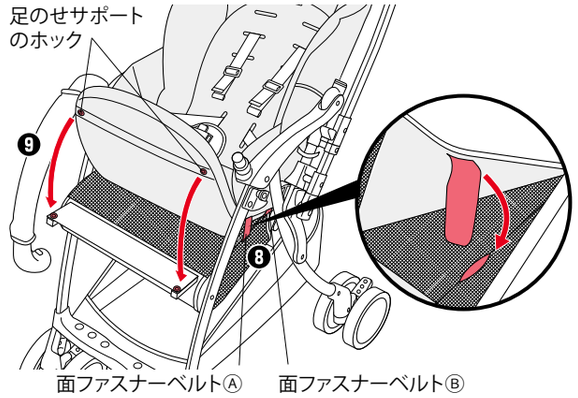
シートの取り付け方





❶股ベルトと腰ベルト、肩ベルトを通し穴に通し、シートを取り付ける。
❷肩ベルトに肩ベルトカバーを取り付ける。（左右）
❸ゴムベルトホック上側（左右）を通し、ホックをとめる。
❹ゴムベルトホック下側（左右）を通し、ホックをとめる。



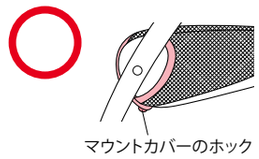


❺ベルトホックをとめる。（左右）
❻シートかぶせ部中央のホックをとめる。
❼シートかぶせ部両側のホック（左右2カ所）をとめる。
❽面ファスナーベルトⒶⒷを通し穴に通しシート座面裏にとめる。（左右）
❾足のせサポートのホック（2カ所）をとめる。
（足のせサポート使用時）

・シートベルトを締める（P14参照）
・フロントガードを取り付ける。

アドバイス　面ファスナーをとめにくい場合は、車体を折りたたみ、座面裏を見ながらとめてください。

シート取り外し時に誤ってマウントカバーのホックを外してしまった場合は、右記の〈正しい取り付け〉の通りになるようにマウントカバーのホック（左右）をとめてください。



〈正しい取り付け〉
フロントパイプ前側のマウントカバーのみがマウントに入れ込まれている。

〈誤った取り付け〉
フロントパイプ後側のマウントカバーもマウントに入れ込まれている。

縫製品の洗浄方法

〈シートの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。

※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

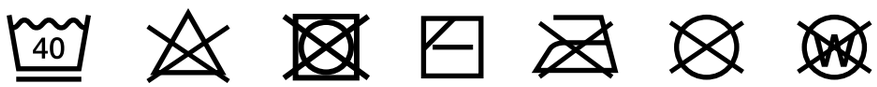
〈フロントガードカバー、股ベルトカバー、肩ベルトカバー、頭マモールパッド、腰マモールパッドの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。

※ねじり又は絞り禁止

〈エアーシートの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

⚠注意
・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
・アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈日除け、肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、カゴの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●**水溶性の汚れ**（果汁、ヨダレ、オシッコなど）**の場合**
40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●**非水溶性の汚れ**（牛乳、油脂、マヨネーズなど）**の場合**
中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。
その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

⚠注意
・縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

・フレームやバックル、車輪についた砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。
・腰バックルの表面に砂鉄などの異物が付着した場合は、粘着テープなどを使用すると取り除きやすくなります。

⚠注意
・フレームや車輪に砂や泥、ホコリが付いたままで使用しないでください。スライド部に砂などが入り、開閉できなくなります。
・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

・車輪は消耗品です。車輪交換が必要な場合は弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。（車輪交換は有償）

〈ネジ・ナット類について〉

・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合は弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P29参照）

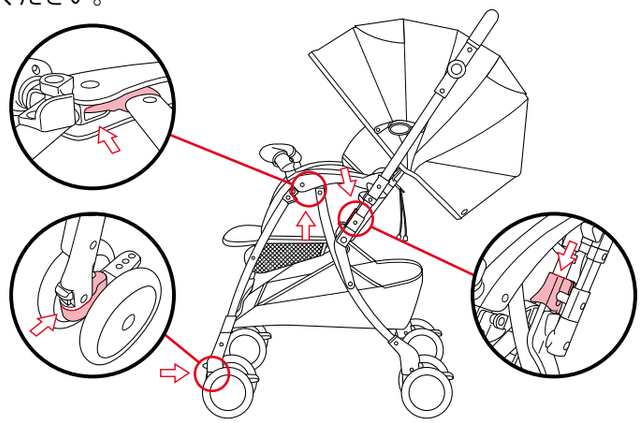
〈フロントガードについて〉

・フロントガードの差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

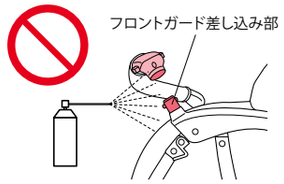
〈注油について〉

・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤を使用ください。
・注油の前には、泥やほこりを落とし、充分に水分を拭き取ってください。
・注油は、１カ所につき2～3滴程度としてください。

●車体がスムーズに開閉しない場合や、キャスターがスムーズに回転しない場合、車輪や車体がきしむ場合は、シリコン滑走剤を図の ⇨ の箇所にさし、開閉操作を2～3回行います。
（開閉の場合のみ）



⚠注意
・フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコン滑走剤などを付着させないでください。
フロントガードが外れるおそれがあります。



困った時

・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P29 参照）

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点		対処方法
開閉	ベビーカーが開かない	ハンドルレバーロックを解除してから、ハンドルレバーを握って開いてください。（P7参照）
		シートの生地やシートベルトがアームレストや開閉ロックなどのフレームに挟まっていないか確認してください。
	ベビーカーが折りたためない	〈折りたたむ前に〉〈ロックの解除〉を行ってから折りたたんでください。（P21参照）
		開閉ロック部分にシートベルトが挟まっていないか確認してください。
走行・方向転換（キャスター）	ストッパーがきかない	ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
	キャスターが回転しない	手動キャスターロックレバーを上げ、ロックを左右共解除してください。（P12参照）
	押す人側の車輪が斜めになり、ベビーカーが押しにくいと感じる	ハンドル切替え時にキャスターが誤った向きでロックされた可能性があります。 押す人側の手動キャスターロックレバーを上げ、ロックを解除してください。 （P9～11参照）
	ベビーカーを後方に動かす時、操作しにくい	ハンドルを持ち上げて押す人側の足元にある車輪を軽く浮かせて動かしてください。 （P11参照）
	キャスターの回りが悪い	キャスターにシリコン滑走剤をさしてください。（P26参照）
	ハンドルを切替えても、前後のキャスターのロックとフリーがうまく切り替わらない	前後どちらかのキャスターへ過度の荷重がかかっている可能性があります。 ・カゴの中に荷物がある場合はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。 ・お子さまをシートの中央に（お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せるようにして）乗せてください。
ハンドル切替	ハンドル切替えができない（ハンドルが動かない）	車体が完全に開き、開閉ロックが降りていることを確認してください。（P8参照）
		左右のハンドルロックを解除してから切替えてください。（P10参照）
	ハンドル切替え時に、ハンドルロックがサポートピンにかからない	背もたれを起こしている場合、背もたれを少し倒してから（P18参照）、 ハンドル切替えを行ってください。
リクライニング	背もたれが起こせない	お子さまをベビーカーからおろして、リクライニングコードを引いてください。 （P18参照）
シートベルト	バックルがとめられない	衣類などの生地やシートベルトがバックル挟まっていたり、異物がバックルに付着していないか確認してください。
保守	タイヤが消耗した	タイヤが消耗し、走行に異常を感じた時はタイヤの交換が必要な場合があります。 弊社お客様サポートセンターに連絡してください。（P29参照）

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック（ひび割れ）や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保管について

・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

注意

・日除けの変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を置いたりしないでください。
・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。
プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄について

・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
・環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について

SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。
ただし、ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意
SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害（物的損害）を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合
事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。（原則として60日以内）

製品安全協会　〒110-0012　東京都台東区竜泉2－20－2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03－5808－3300

〈事故の届出に必要な項目〉

①事故の原因となったＳＧマーク表示の製品
イ）製品の名前、ＳＧマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月
②事故発生の状況
イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ）被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

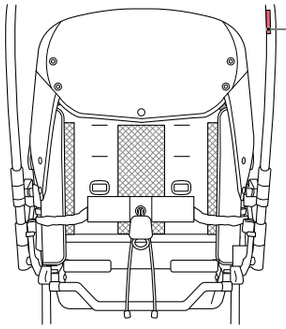
◎保証について

・保証期間中（購入日より 1 年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。
ただし、ご購入日より 3 年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は 1 カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後 3 年間です。ただし、3 年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

◎アフターサービスについて

・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（下図参照）をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ハンドル背面内側シールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL **0120－415－814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。